

海外情報 8月14日

- ホテルのアマゾン化に商機
- アマデウスが地上輸送予約
- 航空会社選定に Wi-Fi 影響
- 米ホテル、取消規定を厳格化
- インターコンは 24 時間前

以上はトラベルジャーナル 8月14日号をご覧ください。

➤ イージージェット、欧州本社移転

イージージェット(U2)がオーストリアで航空運送事業許可(AOC)を申請した。BREXIT に対応するために、本社をオーストリアの首都ウィーンに移転する模様である。オーストリア AOC 取得後のグループ組織は、イージージェット英国(U2)、イージージェットスイス(DS)とイージージェット欧州(VIE 本社)となる。U2にとってEU企業資格はマストである。同社の年間7,500万人の半分はEUからの旅客である。U2は、EU域内にA320型機100機を駐機させ4,000人を雇用している。AOC取得後は、110機をオーストリア登録機とする計画だ。U2は、現在260機のフリートにより31カ国138空港を結ぶ870路線を運航している。(ATW 7/14 goo.gl/ksHHJs)

➤ ブッキングの目的地 T&A 販売

ブッキング・コムが、目的地到着後最初の24時間の出来事に関するPRキャンペーンを実施している。ほぼ3人に1人が、旅行の初日に手違いがないか心配しているので、ブッキングは有名なライフコーチや健康専門家と提携してそれらの不安を取り除き、旅行者を早く休暇モードにさせることを試みる。同社の18,000人を対象にしたアンケート調査によれば;

- 43%が目的地到着後のWi-Fiパスワードの入手が最も重要と言っている、
- 27%が目的地到着時のソーシャルメディアへの写真の掲載を欲している、
- 25%が初日に目的地のレストランの口コミを、10%が仕事のEメールをチェックしている。

ブッキングは、宿泊よりも旅行全体に注目して、まだ小規模であるけれども、既に宿泊を予約した人々に対して、旅行出発前の目的地のアクティビティーをアップセリングする。目的地のツアー、レストラン予約、アトラクション切符販売は、オンライン旅行市場における数少ない未開拓の分野だ。いくつかの大手が事前予約販売を試みているが、以前としてオフライン販売が主流だ。グーグルの17年夏の休暇旅行調査によれば、6人のうち1人(16%)が目的地のほとんどのアクティビティーの手配を済ませている。換言すれば、6人の5人に手配のビジ

ネスチャンスが残っていることになる。OTA は、旅行者のコンタクトや何処に何日間滞在するかを含めた顧客のプロフィールを蓄えている。宿泊施設プロバイダーが、目的地 T&A 市場に直接参入するは時間の問題だ。ブッキングの PR キャンペーンがどれだけ消費者雑誌に採用されるかわからないが、時宜を得たものであることには間違いはない。(TN 7/17 goo.gl/YTHBJZ)

➤ **トラポのモバイル再予約**

トラベルポートが、航空便スケジュール異常時のモバイル再予約可能にする“Resolve”を開発した。この Resolve は、再予約機能に加えてホテル予約変更やマイルクーポンなどのイレギュラー発生時点に必要となる全ての再手配を迅速かつスムーズに支援する。また、航空会社に対して事前のイレギュラー対応の予想(例えばイベント開催による宿泊施設のタイトな空室状況など)を通知することができるほか、イレギュラー関連費用についても分析する。このテクノロジーはトラベルポート研究所アクセラレーターが考案。一方アマデウスは、昨年、Schedule Recovery テクノロジーを開発した。アマデウスによれば、イレギュラーにより発生する費用は 600 億ドルに上る。(TN 7/17 goo.gl/yCYvHZ)

➤ **最大付帯サービス運賃収入は FFP**

CarTrawler がスポンサーした IdeaWorks による 138 航空会社の 16 年航空付帯サービス運賃収入調査によると、easyJet(20 億ドル弱)と Ryanair(14 億ドル)が、FFP を持たない航空会社の部門で最大付帯サービス運賃収入を達成した。FFP 収入を含む総合計では、ユナイテッド(62 億ドル、FFP 収入構成比 48%)とデルタ(52 億ドル、FFP52%)が最大航空会社。easyJet の収入のほとんど半分(47%)は手荷物運賃で、それ以外の多く(26%)はブランド運賃からの収入が占める。付帯サービス運賃収入の旅客収入に対する比率では、米 ULCC(Ultra LCC)の Spirit, Frontier, Allegiance が 40%以上で上位を独占、Wizz Air(39.4%)、Ryanair(26.8%)、Jet2(26%)が続く。1 人あたりの付帯サービス運賃収入でも、米 ULCC 3 社がトップを占める。(TN 7/18 goo.gl/VVsKLQ)

➤ **エアビー、1 億人顧客獲得間近**

エアビーが、10 年足らずで数千万人の旅行者用の短期アパートと部屋の賃貸のためのグローバルマーケットプレイスを作り上げた。人気が続いて上昇しているため、ホテル業界に大きな脅威を与えている。今年に入ってから既に 5 千万の“ゲスト・アライバル”(宿泊日数に関係ないユニーク宿泊客数)を記録、このまま行けば、前年 8 千万を超過して 17 年には 1 億人を達成するだろう。そして、このモーガンスタンレーの昨年末のレポートは、レジャー旅行者

のおよそ 25%がエアビーを少なくとも 1 回は利用すると予想されている。16 年はレジャー旅行者の 19%が利用した。法人旅行者の利用は、昨年の 18%から 23%に増加するとみられている。5,500 億ドル(約 60 兆円)の市場規模を誇るホテル業界に対する脅威がどうなるかが業界の最大関心事だ、昨年のエアビー利用者の半分は、伝統的ホテル滞在からエアビーに乗り換えると言っている。米宿泊施設のルームナイトの 70%は法人旅客で構成されるのだから、一層多くの法人旅行者需要を取り込まなければならない。エアビーは彼らのニーズに応えるとともに「Business Travel Ready」のリステイングを増加させる必要がある。グーグル検索トレンドでは、今やエアビーは既にマリオットやエクスペディアなどの大手チェーンや OTA と肩を並べる。しかし 310 億円の価値を持つ企業に成長したといえども、ホテル業界の規模にはまだ遠く及ばない。不動産サービス企業 CBRE によれば、エアビーのシェアは客室供給で約 6%、需要で 7%、収入で 7%となる。(recode 7/19 goo.gl/tf77qk)

➤ ビーマイゲスト資金調達成功

アジアのツアー&アクティビティ(T&A) B2B サイト“ビーマイゲスト(BeMyGuest)が S\$850 万ドル(\$6.2 Million)にのぼる第 1 回の資金調達に成功した。BMG は C トリップやヤトラなどのアジア地区の多くの大手 OTA に T&A コンテンツを提供、総販売額 S\$100 百万の売り上げ達成を目指している。BMG のサイトでは、合計で 500 の流通パートナーが、900 の目的地の 4,500 以上のサプライヤーにアクセスすることができる。BMG は資金調達に加え研究所を立ち上げた。この研究所は、サプライヤーと流通業者の AP インテグレーション、E チケットティング、収入管理などのツールとサービスへのアクセスを支援する。フォーカスライトによれば、アジアの T&A 市場は \$450 億で、オンライン販売比率は 10%。(TN 7/19 goo.gl/m5wcqP)

➤ 米国法人旅行

グローバル法人旅行協会(GBTA)の「米法人旅行経済インパクト報告書」によると、16 年の米法人旅行消費額は 5 億 1,440 万回の国内出張旅行により 4,240 億ドルの支出となった。米法人旅行業界は、740 万人の雇用と 1,350 億ドルの連邦税収を生み出している。GDP に対するシェアは、約 3%で自動車産業にほぼ匹敵する。法人旅行市場の浮き沈み 1%は、米国雇用者 740 万人、GDP 55 億ドル、賃金 33 億ドル、税収 1,350 億ドルの増減に影響する。上記の直接的アウトプットに加え、間接的経済効果 1,320 億ドルを稼ぎ出している。一回あたりの出張費は、国内と国際の両方で日帰りを含み 520 ドルとなり前年同期比 2.2%下落した。その内訳は宿泊費 163 ドル、交通費 180 ドル、飲食費 94 ドル、その他 83 ドル。目的別では、セールスコール、顧客サービス、政府や軍隊の移動、建設や修理の単発的出張が約半分を構成し、28%がグループ旅行、25%がブレイジャー。40%近くが 1~2 泊、3~4 泊が 22%、5 泊以上は 14%

で、伝統的宿泊施設滞在が 42%、シェアリング経済施設あるいは B&B のような代替宿泊施設が 18%となっている。この報告書はアメリカンエクスプレス・グローバルビジネストラベルとの提携により実施された。(TN 7/19 goo.gl/oTrqgL)

➤ 共有経済、22 年に 44 兆円

ジュニパーリサーチは、私的所有物のシェアリング・エコノミーが 22 年には 402 億ドル(約 4.4 兆円)に達すると予測している。現在の 186 億ドルの 2.2 倍となる。エアビーの他にも、エクスペディアの HomeAway や中国の途家などの新興企業が存在するが、このレポートは触れていない。同じように Uber の他にも Blablacar, Lyft, Didi Chuxing, Ola, Grab が存在する。この調査のシェアリング・エコノミー市場規模の大きな部分は、Deliverloo などのシェア・ロジスティックスから発生している。北米市場が 22 年収入予測の半分を占める。

一方プライスウオーターハウスは、彼らの定義によれば、シェアリング・エコノミーの取引は、英国だけで 25 年に 1,250 億ポンド(約 18.5 兆円)になると予測している。この取引は、プラットフォーム・プロバイダーの 180 億ポンドの英国収入を引き出す。これらの異なるデータが示す通り、シェアリング・エコノミーの規模は莫大なものであることは明らかであるが、その定義はまちまちであり明確な世界基準があるわけではない。ジュニパーでは、シェアード・ロジスティックを使用しているという理由で Amazon Prime をシェアリング・エコノミーに含める一方で、シェアリング・エコノミーの主導者である Etsy の CEO の事業は別にするなどこのセクターの定義が不明確である。(TN 7/24 goo.gl/1uTNDH)

➤ DL、指紋認証搭乗券導入

デルタ航空が、搭乗券に変えて指紋認証による搭乗手続きサービス Clear を DCA 空港で導入する。DL のスカイマイル FFP 会員で Clear に登録した旅客が対象となる。DL は、昨年世界で初めて RFID 手荷物タグを開発、顧客に自分の預けた手荷物のリアルタイムの追跡を可能にした。また、手荷物ドロップ Kiosk に顔認証システムを導入している。(travelmarketreport.com 7/25 goo.gl/5pyRbK)

➤ トリバゴ、収入管理ツール強化

トリバゴが、同社の B2B 収入管理ツール Rates Insight を強化して、ライバルホテルの料金に加え需要パターンもモニターできるようにした。またローカルイベントのカレンダーを含めることにより、需要変動予想に伴う価格調整を可能にした。価格と需要は単一ダッシュボードでモニターが可能。このツールのデータは、250 の第三者予約サイトとホテル直販サイトから抽出する。(TN 7/25 goo.gl/zKvXow)

➤ **タクシーApp ゴールドラッシュ**

タクシーApp のゴールドラッシュが継続している。東南アジアの Grab が 25 億ドルの資金調達を実施する。中国市場を席卷している滴滴出行(Didi Chuxing)と日本の巨大投資企業ソフトバンクが、このうちの 20 億ドルを出資する。これで Grab は 12 年の創立以来 34.4 億ドルを資金調達したことになる。Grab は 7 ヶ国 65 都市で運営、100 万人以上の運転手を抱え、その App ダウンロード回数は 5,000 万回にのぼり、1 日あたりの利用回数は 300 万回。滴滴が今年 4 月に 55 億ドルを調達、合計 130 億ドルの資金を掻き集めたことに比べれば、Grab の資金調達は極めて小さい。滴滴の 1 日あたりの利用回数は 2,000 万回。その一方でソフトバンクは、インドのタクシーApp Ola に対する出資の減損を余儀なくされている。(TN 7/26 goo.gl/e8Hpch)

➤ **エクスペ、インドネシア OTA 出資**

Expedia が、インドネシア最大手 OTA Traveloka の少数株を 3.5 億ドル買収した。両社は、ホテルとシェアリングで協業する。Traveloka は非上場企業で、昨年 5 億ドルを調達、東南アジアの特にインドネシア、タイ、ベトナムに展開している。東南アジア地区におけるその他の OTA には、プライスラインの Agoda や Tiket が存在する。Expedia は、11 年に AirAsia との合併企業に出資、15 年には出資比率を 75%にまで高めた。CEO の Ferry Unardi は、29 歳の新進気鋭の経営者。(Skift 7/27 goo.gl/XpkRoC)

➤ **DL、AF/KLM 株 10%取得**

DLとAF/KLMとVSが、大西洋路線で3社ジョイントベンチャー(JV)を立ち上げる。先ずDLがAF/KLM株10%を約3.75億ユーロで取得、その後18年にAF/KLMがVSの31%を2.2億ユーロで取得する。DLは、すでにVS株49%を取得済みでDL+VSの大西洋路線JVを運営している。このJVとは別に、中国東方航空(MU)もAF/KLM株10%を買収する。この結果DLとMUのAF/KLM出資は合計7.51億ユーロになる。DLは、MU株3.2%を取得済み。AF/KLMの第1四半期決算は2.16億ユーロの純損を計上。DL, AF/KLM, MUはスカイチーム・アライアンスのメンバー。この3社JVが当局より承認されれば、大西洋路線で両岸の強固なハブであるLHR, CDG, AMS, JFK, ATLの5拠点を抑えた1日あたりおよそ300便を運航する最大JVが誕生することになる。(ATW 7/27 goo.gl/CFbbZs)

➤ **アマデウス好調**

アマデウスの上半期決算が、収入 2,490.7 百万ユーロ(前年同期比 9.5%増)EBITDA 利益 998.9 百万ユーロ(10.1%増)の増収増益となった。収入の内訳は、流通部門が 16 億ユーロ(7.6%増)、IT 部門が 855.2 百万ユーロ(13.3%増)であった。この好調な決算は、昨年末の Navitaire の New Sky システム買収と 5 月の WN の Altea システム移行が貢献している。予約数はエアーが 2 億 9,520 万回(+5.7%増)、ノンエアー3,320 万回(+5.8%増)であった。旅客数は 7 億 5,380 万人(20%近く増)となった。特に WN の Altea 移行による影響は大きく、北米の旅客数は第2四半期で 40%増となった。GDS 世界シェアは 43.6%(43.2%)であった。(Amadeus 7/28 goo.gl/fcqSzW)

➤ **トラベルズー第 2 四半期決算**

トラズーの第2四半期決算は、収入 1,660 万ドル(前年同期比 7%減)、営業利益 300 万ドル(23%減)の減収減益となった。会員数は、2,930 万人に 3 月末より 20 万人以上増加した。地区別内訳は、北米 1,740 万人、欧州 840 万人、APAC 360 万人。APAC の今後の販売増に注力すると言っている。第3四半期の予想も芳しくないが、パーソナリゼーションのアップグレード、ロイヤルティースキームなどの強化に加え、より良い特別販売と PR キャンペーンに努力する。(TN 7/28 goo.gl/vqibPC)

+++++ +++++ +++++